

令和8年度 進路だより わくわくワーク 第2号

令和8年7月10日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

第1回目の高等部就業体験が6月10日から23日までの10日間、行われました。参加した生徒にとっては、卒業後の進路に向けて自身の課題に気付く、貴重な学習の機会となったことと思います。今後、以下の通り進路に関する行事が予定されております。

進路相談会（高2保護者対象）：7月10日（金）～17日（金）

進路学習会（高3保護者対象）：7月21日（火）

障害福祉サービス事業所合同説明会（全保護者）：7月24日（金）

これらは、就業体験先について相談をしたり、事業所や卒業後の生活・手続きに関する情報を得たりすることができる大切な行事ですので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。また、進路支援部では、進路を考える際の拠り所となる以下の資料を本校ホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

○進路支援の手引き（小学部・中学部・高等部）

○福祉サービス事業所地図

○進路だより

○障害福祉サービス事業所ガイドブック

子供たち一人一人が希望する進路に近づけるよう努めてまいりますので、保護者の皆様には、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（教頭 青山 徹）

第1回高等部就業体験（6月10日～23日）

就業体験は、進路選択、進路決定のための大切な学習の機会です。生徒一人一人が目標をもって就業体験に取り組み、それぞれに成長がみられました。以下に、生徒の様子や感想を紹介します。

<校内就業体験> 1年生

<作業内容> 苗の管理、除草（園芸班）

<体験の感想> 農園で苗の管理や除草をしました。

除草は、「ハルジオンを〇本とる」という目標を決めて、集中してがんばりました。合わせて100本ほど草をとって、目標を達成することができました。



<校外就業体験> 2、3年生

めひの野園 みしまの工房（生活介護事業所）

<作業内容> 竹ビーズ通し、紙ちぎり、糸巻き

<体験の様子> 周囲の利用者の方たちの様子を見ながら、落ち着いて活動に取り組むことができました。



ほまれの家富山東店（就労継続支援 B 型事業所）

＜作業内容＞チラシ折り、ネジ入れ、箱折り

＜体験の様子＞ネジ入れでは、間違えることなく 8 本数えて袋に入れました。大きな声で報告をすることができました。最後まで集中して取り組むことができました。



JOB ふたくち（就労継続支援 B 型事業所）



＜作業内容＞施設外での清掃、除草

＜体験の感想＞富山市社会福祉センターで、階段掃除と外掃除をしました。分からないことは職員の方に教えていただき、そのことを意識してがんばりました。ほうきの正しい使い方をもっと練習したいです。昼休みは先輩方とたくさん好きな話をして、楽しかったです。

進路のひろば



「就労継続支援 A 型事業所と B 型事業所の違いを知りたい」とのご意見がありました。

今回は、3つの就労系障害福祉サービスについて比較してみましょう。

観点	就労移行支援	就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型
主な目的	一般企業への就職を目指し、スキルアップや就職活動のサポートを受ける	障害や体調に配慮された環境で雇用契約を結んで働き、一般就労を目指す	雇用契約を結んで働くことが難しい人が、障害や体調に応じたペースで軽作業などを行う
収入	原則なし ※訓練の場であるため	給与（最低賃金以上） ※令和 6 年度の実績 ・富山県の最低賃金 時給 1,062 円 ・富山県平均月額 84,672 円	工賃（成果報酬） ※令和 6 年度の実績 ・富山県平均月額 23,994 円
働き方	ビジネスマナー、パソコン、コミュニケーションなどの講座を受講したり、職場実習をしたりする	週 5 日間、一日 4～6 時間程度など出勤日数や時間が決まっていて支援を受けながら継続して働く	作業ペースや時間、作業内容など、柔軟に対応してもらいながら働く
通勤方法	自力通勤が望まれる	自力通勤が望まれる	送迎など（要相談）

事業所によって、仕事内容や勤務時間、雰囲気、送迎の有無などは違ってきます。

7月24日（金）に実施する「障害福祉サービス事業所合同説明会」には、41事業所の方が来校されます。ぜひ説明を聞いていただき、お子さまの進路選択に役立ててください。